



【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。子どもさん向けには担任の先生が教室に掲示して下さっております(〃\_〃)】

## 国立大学法人 九州工業大学情報工学研究院主催

### 「第16回 未来をつくろう！アイデアコンテストにおいて、

### 本校 飯塚東小学校2年生 松熊 沙織さんが、

### 作品タイトル名「秘密の紙」で「優秀賞」を受賞されました。

### 誠におめでとうございます。

早速、2年生の松熊沙織さんに優秀賞受賞のお祝いの言葉とインタビューをさせていただきました。レポートを要約したお話をさせていただいたところ、「秘密の紙」とは、一種のテレポーターション (teleportation) にも似た現象のようで、紙でありながら時空を超えてタイムスリップしたり、物体を離れた空間に転送したり、あたかも紙でありながら、自分自身が離れた場所に瞬間的に移動したりするような現象や能力を発揮するような「夢のシート」と私は感じました。松熊沙織さん理論を私なりに推測いたしますと、FAXの原理でありながら、機械を媒介としない紙(シート)であり、なおかつ消せるボールペンでもなく、透明なマーカーの上から書いた文字が色マーカーでなぞると浮かび上がるマーカーでもあぶり出しでもなく、はたまた、受験用の緑のクリアシート活用のマーカーでもなく、どちらかというと物体等に対して念動力(テレキネシス)を適用することによって空間を非連続的に飛び越えさせ、文字通り瞬間的に2つの地点の間を移動する能力・技術を持ちつつ、ICチップ入りのマイナカードとは違う感じのもので、鏡にも似たシート自体に複雑な力が宿っているものかなあと改めて私は感じました。

P.s. 松熊沙織さんとお話してみて、「秘密の紙」は実現可能な魅力を感じます。ペンや、鉛筆を媒介とするのではなく、シート自体に力が宿っている発明という斬新な発想。そこが、手塚治虫先生や藤子不二雄A&B先生の感性と近いなと感じました。AI(人工知能)から進化した生成AIが活躍する現在です。生成AIは、学習したデータをもとに、まったく新しいアイデアや表現を創造できます。しかし、自動運転や自動ブレーキ、ドローンをはじめ、そのような素敵な産物の時代でも、悪用して争いごとは世界で起こっています。松熊沙織さんの「秘密の紙」で相手の電話番号やID番号やアドレスを知らなくてもけんかしている本人同志に瞬時に手紙に思いや願いを込めて送ることができたらいいのに……。素敵な発明を悪用さえしなければ、世界平和は近い将来きっと訪れるはず……。と勝手な私の想像でした。ごめんなさい。(〃\_〃)

P.s.2 現在はコンゴ民の孤児援助を行う団体『コンゴ未来プロジェクト』運営者で、青年海外協力隊(JICA)やイギリスサセックス大学でまなばれた田川志織先生が、「正しい教育を受けた子どもこそが平和への使者である。」とおっしゃっているように、私は「正しい判断力を持った勇気のある子どもの育成に教育を通して邁進します」と松熊沙織さんのインタビューから誓いを新たにいたしました。改めまして松熊沙織さん！優秀賞受賞！！誠におめでとうございます。(＃^\_^＃)



自分の記録にチャレンジ中です！ 1年生から3年生

までの朝学習（東ショウタイム）の取材ができました。

角度を変えての頑張りショットをご紹介します。私も努力しますし、脳トレに励みます(=)

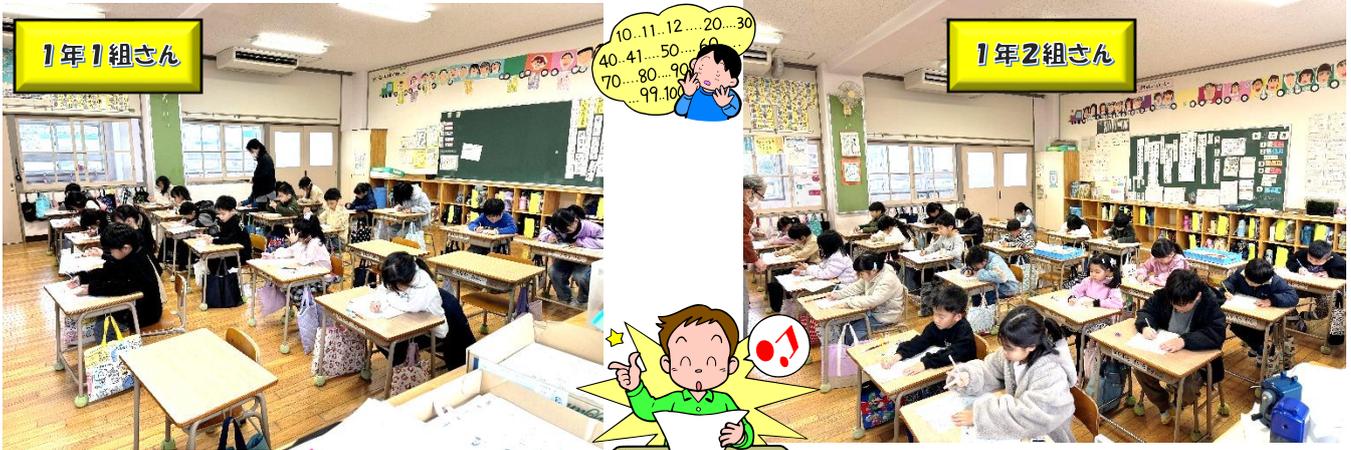
自分の記録にチャレンジだったのか

遅刻して損したパイ



1年1組さん

1年2組さん



2年1組さん

2年2組さん



3年2組さん



3年1組さん



3の1さんは100マス計算の答え合わせのシーンです。